

小信中島連区

地域づくり協議会だより

* 発行者 小信中島連区地域づくり協議会広報広聴部会

連区の年末・年始

年の瀬ウォーキング&餅つき大会

12月14日(土)公民館魅力ある地域づくり部主催で「年の瀬ウォーキング&餅つき大会」が堤治神社・木曾川河川敷で行なわれました。天気の良い絶好のウォーキング日和になり、子ども達のグループ、ベビーカーに赤ちゃんを連れた若いカップルや家族連れなど老若男女600名余の参加がありました。

コースは、6Kmコース(約7,500歩、85分)堤治神社⇒木曾川河川敷遊歩道⇒濃尾大橋⇒富田折り返し⇒金刀比羅神社⇒安浄寺⇒堤治神社と、3Kmコース(約3,750歩、40分)堤治神社⇒木曾川河川敷遊歩道⇒金刀比羅神社⇒尾西団地北⇒アルフレッサ西⇒堤治神社の2コースでした。

それぞれのコースを歩き終えた皆さんは、堤治神社の境内で、豚汁、焼きそば、お餅をおいしく頂きました。どれも長い行列ができて、たいへん盛況でした。

たくさんの中学生ボランティア、一宮警察署のおまわりさん、地域の団体の皆さんの協力がありました。



厄年会 大鏡餅つき

12月29日(日)小信、二ツ屋地区で本年厄年を迎える皆さんが堤治神社において大鏡餅の準備をしました。小信地区17名、二ツ屋地区17名の昭和48年4月2日～昭和49年4月1日生まれの方々に厄年会(丑寅会)を結成して、この準備を行いました。

餅つきが始まるまでは、少し小雪が舞っていましたが、スタートと同時にとても良い天気になり、氏子青年会の



皆さんの協力を得ながら、88臼もの餅をつき、厄除けの願いを込めて、小信地区、二ツ屋地区にそれぞれ1組づつの大鏡餅を作り上げました。

大鏡餅の奉納

12月31日(火)夕刻から小信地区はグリーン・コミュニティー・センター(GCC)に、また、ニツ屋地区は公会堂に地区の有志の皆さんが集まり、厄年会の皆さんの初老のお祝いがなされました。その後、先導車に続き、大鏡餅を飾った車、他に厄年の皆さんが乗り込み、みかんを配りながらそれぞれの地区をパレードして、新年を迎えて堤治神社に大鏡餅が無事奉納されました。



除夜の鐘

12月31日(火)大晦日の夜、紅白歌合戦が終わった頃から、深夜0時を挟んで各所の寺院で除夜の鐘がつかれます。108の煩惱を除く意味を込めて、108回つかれます。

小信地区の安浄寺においては、皆さんが参加して除夜の鐘をつきました。親子で参加した子どもが、真剣な顔でついていました。

熱いぜんざいが用意されていたり、帰りにはお菓子がいただけただけで眠そうだった子どもは目をパッチリとあけていました。



初もうで

平成26年元旦、年が明けて初めての参拝で、一年の感謝を捧げたり、新年の無事と平安を祈願します。

それぞれの地区の氏神や身近な神社に多くの皆さんが祈願されたことでしょう。

良い一年でありますように！！

< i-バスについて >

「一宮市公共交通計画」に基づき、現在運行中のi-バス(尾西北コース、尾西南コース)を平成27年4月以降、地域生活バス運行に移行することになり、利用促進や地域生活バスへの移行について検討をするために、「尾西・奥町地域生活バス運営委員会」が発足しました。

i-バス・・・公共施設の利便性向上のため駅と公共施設を結んで運行

地域生活バス・・・最寄りの鉄道・路線バス等に連絡し、地域需要に応じ、地域の協議により運行

地域生活バスに移行後、次の運行条件を満たさない状態で3年を経過した場合(平成27年度～29年度)、その地域生活バスは、期限を決めて廃止することになってしまいます。

★運行条件(案)・運賃収入(最低金額)・・・1日当り6,000円(運行日当り)、100円の場合60人

・市負担経費(年額)・・・世帯数X1,000円(上限1,200万円/バス1台)

現在、i-バスの利用者は減少傾向にあり、地域生活バスに移行しても減少すれば、廃止になります。ぜひとも一層のご利用をお願いします。ご意見やご要望がありましたら、連区長までお知らせ下さい。